

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公開番号】特開2010-12144(P2010-12144A)

【公開日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2008-176804(P2008-176804)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 4 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月6日(2011.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の遊技機が配列された遊技島に設けられ、各遊技機に遊技球を供給する遊技球供給装置において、

前記遊技島の長手方向に傾斜して配設された第一補給樋と、

前記遊技島の長手方向に傾斜して前記第一補給樋の下流側に配設され、上流端部が前記第一補給樋の下流端部よりも高い位置に設けられた第二補給樋と、

前記第一補給樋及び第二補給樋の長手方向に沿って配設され、前記第一補給樋及び第二補給樋を転動する遊技球を各遊技機へと導く複数の補給シートと、

前記第一補給樋の下流端部と前記第二補給樋の上流端部との間に配設され、前記第一補給樋から前記第二補給樋へと遊技球を搬送する搬送装置と、を備え、

前記搬送装置は、

回転軸を中心に回転し、外周縁に配設された硬磁性体の磁力によって遊技球を外周面に吸着させて搬送する回転体と、

前記第一補給樋から排出される遊技球を前記回転体へと導く供給ガイドと、を備え、

前記供給ガイドの転動面は、前記第一補給樋の転動面と比較して傾斜が大きいことを特徴とする遊技球供給装置。

【請求項2】

前記第一補給樋の下流端部と前記供給ガイドの転動面との間には、遊技球1個分以上の段差が設けられることを特徴とする請求項1に記載の遊技球供給装置。

【請求項3】

前記供給ガイドは非磁性体であることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技球供給装置。

【請求項4】

前記供給ガイドの転動面は、前記回転体の外周面と遊技球が通過不能な隙間をもって対峙することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか一つに記載の遊技球供給装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0008】**

第1の発明は、複数の遊技機が配列された遊技島に設けられ、各遊技機に遊技球を供給する遊技球供給装置において、前記遊技島の長手方向に傾斜して配設された第一補給樋と、前記遊技島の長手方向に傾斜して前記第一補給樋の下流側に配設され、上流端部が前記第一補給樋の下流端部よりも高い位置に設けられた第二補給樋と、前記第一補給樋及び第二補給樋の長手方向に沿って配設され、前記第一補給樋及び第二補給樋を転動する遊技球を各遊技機へと導く複数の補給シートと、前記第一補給樋の下流端部と前記第二補給樋の上流端部との間に配設され、前記第一補給樋から前記第二補給樋へと遊技球を搬送する搬送装置と、を備え、前記搬送装置は、回転軸を中心に回転し、外周縁に配設された硬磁性体の磁力によって遊技球を外周面に吸着させて搬送する回転体と、前記第一補給樋から排出される遊技球を前記回転体へと導く供給ガイドと、を備え、前記供給ガイドの転動面は、前記第一補給樋の転動面と比較して傾斜が大きいことを特徴とする。

**【手続補正3】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0012****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0012】**

第1の発明によれば、遊技球は、回転体の外周縁に配設された硬磁性体の磁力によって回転体の外周面に吸着して搬送されるため、遊技球の搬送経路は広い空間から狭い空間へ搬送される構造とはならない。したがって、球詰まりを起こすおそれがなく、遊技機に安定して遊技球を供給することができる。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0020****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0020】**

遊技島100は、長手方向(図1においては紙面左右方向)に2列に配列された複数の遊技機設置開口部5を有する。図1においては遊技島100の表面側の遊技機設置開口部5の列のみを図示するが、遊技島100の裏面側にも遊技機設置開口部5の列が形成される。この遊技機設置開口部5には遊技機が設置される。これにより、遊技機は、遊技島100の長手方向に配列されると共に、短手方向(図1においては紙面垂直方向)には、それぞれの背面を合わせた背向状態で配置される。